

2023年1月のGlobal Session(359回目)のお知らせ

期日:2023年1月29日(日) 1:30~3:00 場所:ガレリア3階 会議室

ゲスト:岡本颯(そう)さん

コーディネーター:募集中

タイトル:「近くて遠いコミュニケーション~現在のコミュニケーションはこれでいいのか」

参加人員:10名ほど(ゲストを含む) 参加費:600円

デバイスの感覚体験、隔たりのあるコミュニケーション

「私は現在大学一回生で、対面とオンラインの両方の形式で学校生活を送っています。コロナ期間中に増えた画面越しに遠隔で受ける授業にもかなり慣れてきました。気付けばスマホやPCといったデバイスは生活にぴったりとくっついていて、使いながら違和感もほとんど感じません。いつでもどこでも繋がれる環境をととても便利に感じると同時に、隔たりのあるコミュニケーションに依存することに「このままで本当にいいのか」という不安も感じています。

世代によって、コミュニケーションに用いる媒体の種類は異なります。この違いが私たちの認識や行動にどのような影響を与えているのか、参加者の皆さんの経験と意見を伺いながら考えてみたいと思っています。」

1. 現在の大学生のコミュニケーションの形(+少し前までのコミュニケーションの形)

- ① 学校の授業ではどのような形をとっているのか
- ② 日々のコミュニケーションの形

2. 対面とオンラインは実際に何が違うのか

- ① それぞれの特徴は？

3. これから自己形成していく子どもや若者が影響を受けることはないのか

Global Sessionについて(児嶋記)

1999年から、亀岡市交流活動センター(宮前町)で開始したGlobal Sessionは、今回で359回目になります。横瀬和治さん(宮城県宮城郡利府町に私塾NeoALEXを設立し、画期的な教育の在り方を研究・開発している)に講師として指導を仰いで以来、継続しているSessionです。毎月1回開講し、参加者と共に考えながら進めてきました。

約束ごとは、「当てない」「どこからでも発言をするために入ってきていい」というふたつだけです。

2月のGlobal Session

2月23日(木・祝日) 10:30~12:00 場所:ガレリア3階 会議室(ゲストはオンラインで)

ゲスト:濱田雅子さん(元武庫川女子大教授・アメリカ服飾社会史研究会会長) 24回目

タイトル:写真が語るアメリカ民衆の装い(その4)~1880年代の民衆の生活文化を垣間見る~

申し込み:児嶋 e-mail:kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp